

NPO法人新住協通常総会・全国研修会参加報告書

平成22年5月21日総会・研修会

宮城県宮城郡松島町 ホテル松島大観荘

5月22日住宅見学会 仙台市内

安田 弘

全国各地から300名以上の会員が、名勝地松島に集い全国大会が開催された。21年度事業報告、決算報告、22年度計画、予算案の審議も満場一致で承認され、引き続き研修会が開催された。

鎌田教授のQPEX3の解説、基礎断熱工法、透水シートによる排水などはコンクリートの打ち継からの漏水防止等からも興味を引いた。



岩手支部会員の90mm付加断熱の施工の紹介もQ値1.15と東北地方にも性能の高い住宅建設が普及して来ている事に心強く思う。住宅のサッシも南面にはペアのクリアーガラス、北面のガラスはトリプルのガス入りトリプルを使用する等、工夫されている。

省エネ住宅もQ値の競争ばかりではなく、冬期間の太陽熱の取得などを考慮した建築は良く考慮されていると思う。

これからの住宅業界は購入層の所得減少、高齢化での人口減少、世帯数よりも日本の住宅が大幅に上回るなどを考えると、性能が良く、長期間の使用にも対応し、耐震性も高くをなどの条件を満たしながら、コストダウンを図らなければならず、建築に使われる、玄関ドアから、サッシ、冷暖房器具、バスユニット、厨房、換気装置、照明器具など多くは外注品であり、これらの部材、資材、器具の性能向上とコストダウンが絶対条件として必要と考える。

また、総会で展示されている多くの新製品はこれからの住宅造りには大変参となるものが多い。

展示コーナーには多くの会員が訪れ賑わいを見せていたが、付加断熱やサッシの収まりなど、一見の価値はあるだろう。

これ等が住宅の性能アップ、コストの低下に繋がる事をきたいしたい。



5月22日 仙台市内住宅見学会

仙台市の郊外、なだらかな丘のなか
緑一杯の K 氏邸のウッドデッキに立
つと“目に青葉 山ほととぎす初鯉”
山口素堂の俳句を思い出させる。
また、玄関脇の庭入口には『楽座』
の看板が目につく、居住者と設計者
のセンスが光る住まいでした。



2階は黒、1階はグレーの外壁
ウッドデッキの周囲には庭木を配し
デッキからの借景は心を休める空間
といえる。

時にはお孫さんが来て遊ぶ三輪車、
以前は青森にお住まいで、寒いお住
まいであったが、今は快適な室内環
境で大変満足している由、年間の暖
房灯油消費量は年間5000を切ると
云う。



日当たりが良く、家族の語らいと
談笑が聞こえて来るような居間、
至福の時間を過ごされている様子が
伺える。フローアも木の香が明るく
床、壁の取り合いには幅木などは
一切使われていない、掃除もし易く
満足しているとの奥さんのコメント
でした。



屋根 HGW16K 200mm 外壁 HGW16k 90mm + GWB32K35mm

階間部 HGW16K90mm GWB32K35mm

土間床 GWB32K100mm 熱損失 189.48 熱損失係数 1.788

暖房用灯油消費量年間 4930

ご主人が専用としている書斎、執筆
ルーム



2階踊り場から展望した吹き抜けの
明るい居間、天井が高く圧迫感
は全く感じない



食器棚は使い勝手を重視し、奥さん
の意向で扉なしで手軽に出し入れ
ができるように設置したとのこと。



自慢のウッドデッキでのご主人、総
てに満足との事、暖かい家庭と住
宅、景観などご健勝をお祈りいた
します。



西方設計の F 氏邸、建て主さんはあらゆる情報から西方さんに設計を依頼し Q 値 0.99 の省エネ住宅を完成してもらいました。

屋根 HGW16K 240mm 外壁 HGW16K200mm 階間部 HGW 16K200mm
基礎押出 PSF 3種 50mm 暖房ヒートポンプ、床下から放熱
年間暖房用灯油消費量 103 リッターと脅威な数字でありあらゆる面で超省エネ住宅といっても過言ではない。

外観は明るく、夏場の冷房負荷を考慮し居間の庇の出を採りながら明るさを確保した住まいであった。
窓は Lo-E ペアアルゴンガス使用とのこと。



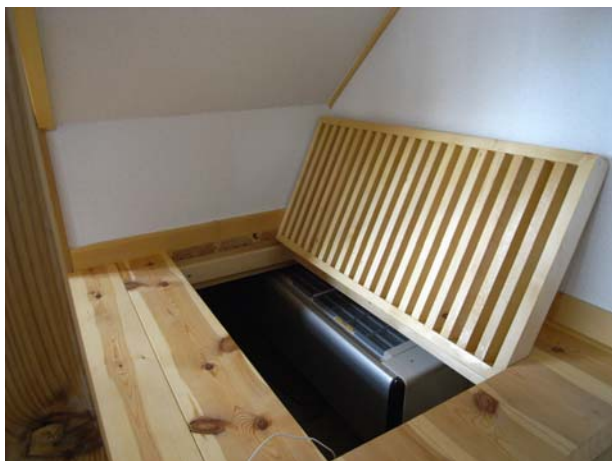
明るい室内、省エネ住宅の要素について参加者一同、隅々まで見学をさせていただいた。



暖房のボイラー、放熱器は床下に設置されガラリから温風を放出する。

適
を

屋根断熱 HGW16K 175 + 155
外壁 HGW 16K 105 + GWB 32



階間部 HGW16K105+GWB 3 2 K 3 5 基礎GWB 4 8 K 6 0 + 6 0

換気は熱交換換気0.5回 換気交換効率70%

この性能を出すのは建て替えに近い改修であったと想像する。

A 氏邸の南面外観庇の出も大きく、夏の太陽を遮り、冬は居間一杯に太陽光が入り取得熱に対する考慮がなされていた。



天井のベルックルウインドウからは明るい明かりと遠隔操作で密閉することも出来、随所に工夫がなされていた。



一階の天井部には屋根からの採光と夏場の空気取り入れ口にもなり、新鮮な空気がもたらされているが、換気扇で室内が負圧になっているからと考えられた。



INTEC 伝八初小坦正七区四期九協職云の参加報告を以てしよ。

黄色ジャンパー着用の東北支部会員の皆様にはお世話になりました。



公務ご多忙のなか住宅見学会
に参加いただき、最後まで熱心
に省エネ住宅をご覧戴いた
法務大臣政務官 中村 哲治
参議院議員（右）

